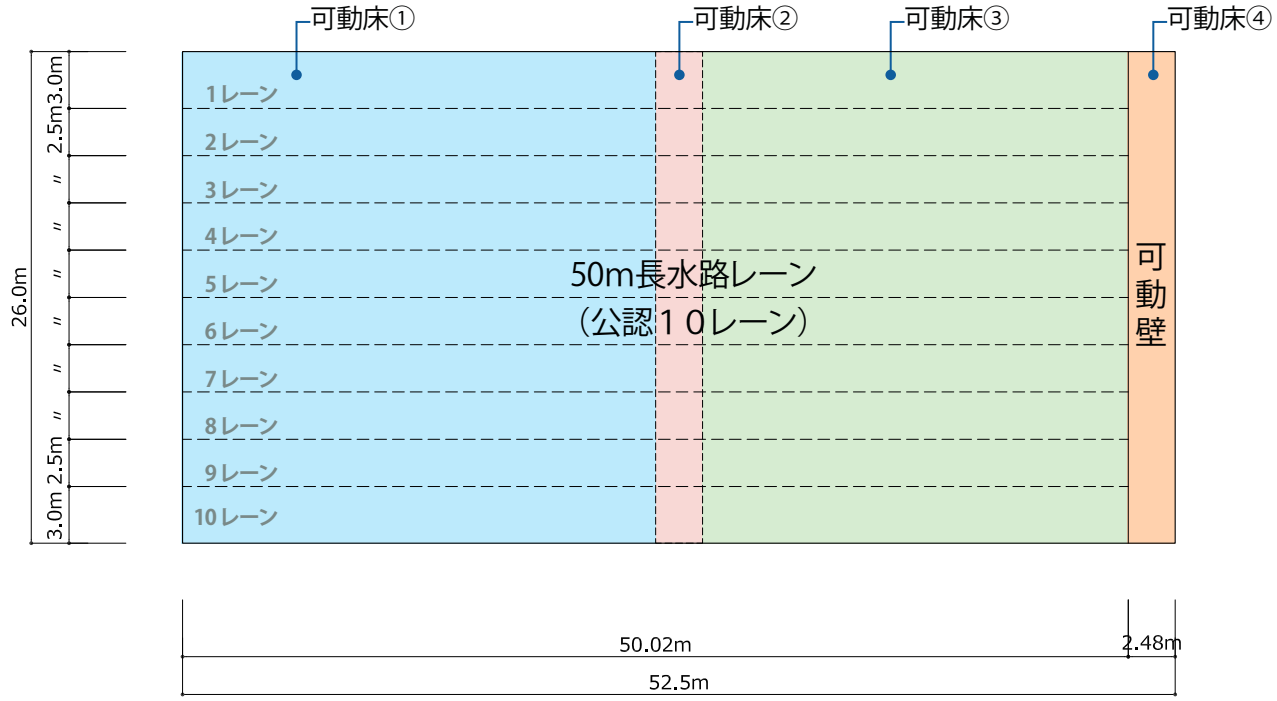
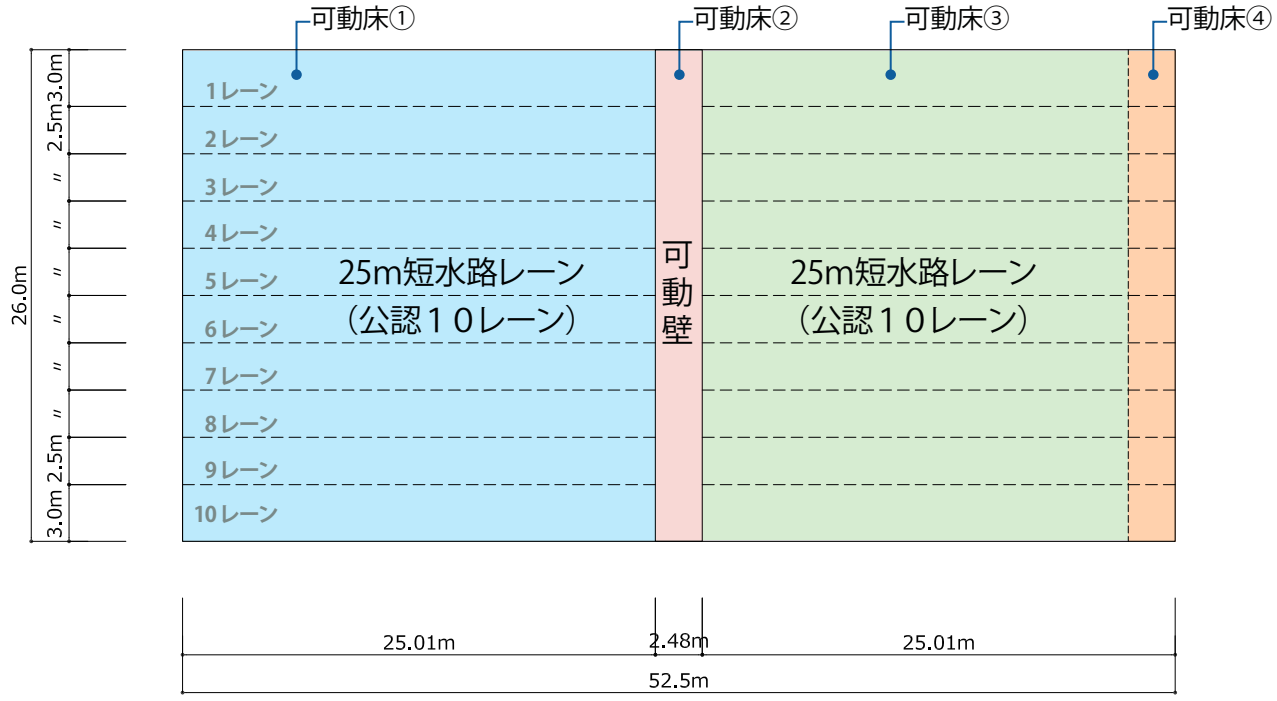
※以下の利用に合わせた形態が可能であること。

【長水路レーン（公認１０レーン）の場合】



【短水路レーン公認１０レーン）の場合】